生きがい通信

No.194

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内
TEL493-8011　FAX493-8040
URL:http://www.sjc.ne.jp/narashino/　E-mail:narashino@sjc.ne.jp

令和５年9月30日現在
会員数:821名
男性640名 女性181名

シルバー作品展を開催

10月5日(木)から7日(土)の3日間、シルバー作品展を開催いたしました。

このシルバー作品展は、平成21年度よりセンターの普及啓発、文化意識の高揚を図り、心豊かな生活、地域社会の実現に寄与することを目的としてシルバーフェアを開催。その後、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一時中止となっておりましたが、4年ぶりに芙蓉園文化祭と同時開催として復活したイベントです。

1F ロビー展示の様子

○着物リメイク　作品数70点(うち、販売品50点)
○筆　耕　作品数9点
○絵　画　作品数2点
○写　真　作品数3点
○女性の会　作品数45点

会場には、公務ご多忙の中、宮本市長、諏訪副市長、小平健康福祉部長が来場され、当センター行方会長のご案内で鑑賞され心温まるお言葉を戴きました。

会議室展示の様子

私のふるさと紹介

大久保地区　上田　繁

ー北海道・津別町ー

かつて、「君の名は」で有名になった「美幌峠」の美幌町は隣町ですが、今や、私のふるさと津別町の「津別峠」（写真1）の方が全国区になっています。

〝美しい星空〟と〝雲海の津別峠〟がテレビで紹介されて以来、人気観光スポットとなっています。人気の秘密は、屈斜路湖の外輪山で最も標高が高く（津別峠標高947m）、美幌峠より約420m高く、展望がひらけるのです。晴れた日には、正面に見える斜里岳の遥か先に、オホーツク海と知床半島の海岸線が遠望できるのです。屈斜路湖対岸の山並みには、摩周岳（857m）、振り返れば雄阿寒岳（1，370m）、雌阿寒岳（1，499m）、更に西方には、大雪山（2，290m）まで遮るものなく見通せます。山好きの自分にとっては、峠と言うよりは947mの山頂からの景観を楽しむ思いです。

峠の展望台までは車で行くことが出来、ライブカメラが設置されていて、6月～10月末の夏季シーズンには、パソコンでライブ映像が見られます。夜の星空と、早朝の雲海（写真2）は、マニアにとっては絶好の景観で、駐車場で車中泊する人が増えています（星の最も美しい長野県・阿智村に比肩）。

酪農を営む実家を手伝いながら高校卒業まで、朝な夕なに雌阿寒岳（めあかんだけ）を臨む故郷の景色（写真3）を満喫していました。

その雌阿寒岳を登頂したのは、なんと山好きになってからの61歳（2004年）の時でした（写真4）。まだ、実家が存続（甥夫婦）していますので、札幌へ（毎年）出掛ける時には、足を延ばすよう心掛けております。

▲（写真1）
北海道・津別峠ー屈斜路湖・和琴半島・摩周岳ー

▲（写真2）
津別峠の雲海（日の出）

▲（写真3）
実家からの雌阿寒岳（右）

▲（写真4）
雌阿寒岳頂上（眼下はマリモの阿寒湖と雄阿寒岳）

夢の輪便り 82~84

第82回 7月 暑気払い

局長、夢を語る

局長や会長、副会長、常務など当センターを司る重鎮とのお話を通して、シルバー人材センターの社会的役割、女性会員への更なる期待にも、プレッシャーを感じることもなく楽しんでいた夢の輪の皆様の様子に頼もしさを感じました。

第83回 8月 一筆入魂 元気注入

エンジョイ＝楽しむ ジョイニング＝つながる
エンジョイニングゲーム

エンジョイニングのラストは
ふうせんに癒されました。

第84回 9月 無手勝流 フラワーアレンジメント OHANA ASOBI

お花遊び後の皆さんのこの笑顔！
若々しく輝き、まぶしささえ感じます。

行事予定

入会説明会（定例 月3回）

毎月第2・第3水曜日
午前9時30分～
毎月第2金曜日
午後1時30分～
シルバー人材センター会議室

出張入会説明会（不定期）

令和5年11月17日（金）
午後2時～
『新習志野公民館　講義室1』
令和5年12月21日（木）
午後2時～
『プラッツ習志野　集会室3』
※12月21日（木）は、女性限定となります。

就業相談（予約制、会員限定）

毎月第2・第3水曜日
午後1時～（30分単位）
シルバー人材センター会議室

刃物研ぎ作業

毎月5日、12日、20日
午前9時～
袖ケ浦作業所
毎月第4木曜日　午前9時～
シルバー人材センター会議室

（事務局）

支援要望活動

令和5年9月20日（水）、行方会長、市村副会長、内海常務理事が習志野市長宮本泰介様、市議会議長佐々木秀一様と面談し、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会からの【決議文】を基に「シルバー人材センターへの支援要望活動」を行いました。

習志野市長 宮本泰介様と面談

市議会議長 佐々木秀一様と面談

編集後記

梅雨明けの頃、友人三人を誘い、私の田舎、伊豆のホテルに一泊した。

夕食時に付いた仲居さんから「皆さんは何処から来た」と尋ねられ、「東京から」と応えたが、仲間の一人が「俺は東京ではなく東村山市だ」と言うと、仲居さんが、同郷だという話から始まり、暫くの間、ふたりの地元談議となった。

翌日の朝食も同じ仲居さんだったので「東京から伊豆までは片道3時間も掛かるし、交通費なども大変では？」と質問してみた。本人曰く「明日も別の仕事があるので今日はホテルの寮に泊まる。」とのこと。それ以上は聞かなかった。

後で思うに、この土地も50年前より人口が半分以下になったと聞いていたし、旅館数も恐らくそれ以上減っているはずであるので、この小さな町も少子高齢化と人手不足なのだろう。

今回知り合った女性も別のホテルと掛け持ちし、週単位で東京と伊豆を往復しているに違いないと自分なりに納得した。

広報部会